

自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(技術・工業・情報) / 菊地 章

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

科学研究費補助金については、現在基盤研究(C)として「紀元前からの情報機器の復元を伴った未来志向型技術・情報教育3次元教材の開発」の研究を行っている。2012年度においてもこれを継続し、最終年度としてのまとめを行いたい。

2. 点検・評価

科学研究費補助金を獲得し、基盤研究(C)「紀元前からの情報機器の復元を伴った未来志向型技術・情報教育3次元教材の開発」の研究を行った。ヨーロッパや中国等の情報機器変遷について調査し、有益な結果を得た。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

現在、技術・工業・情報コース一丸となって大学院生確保に努めており、年々成果を上げている。日本人の入学生の受け入れに加えて、外国人の入学生も広く受け入れており、また、大学院生による有益な研究成果もあげている。今年度も日本人と同様に外国人の受け入れにも努力していきたい。

2. 点検・評価

外国人留学生の受け入れに積極的に貢献し、大学院生として1名入学し、研究生として1名受け入れた。

II. 分野別

II-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- 授業内容・方法の改善を図り、学生の学習意欲を向上させる。
- 学部ならびに大学院(修士)の授業において、実習を多く取り入れて授業内容の定着を図る。
- 留学生の研究生受入を行い、大学院受験に繋がるよう指導する。

2. 点検・評価

学部・大学院とも年々学生の質が下がる傾向にあり、これに合わせて例示を多くした授業内容と実習を多くした授業方法に改善し、質問を多用することにより学生の学習意欲を向上させた。また、留学生の研究生受入を行い、大学院に合格させた。

II-2. 研究

1. 目標・計画

- 学生の研究指導を徹底し、学会発表に結びつける。
- 自己の研究を発展させ、学術論文としての成果を出す。
- 連合大学院学生を指導し、研究内容を深化させる。また、学会に論文を投稿させる。

2. 点検・評価

博士課程学生、修士課程学生、学部学生の研究指導を徹底し、全国大会や支部大会等で年2回の学会発表をさせた。また、学生の研究を発展させ、研究成果が査読付き学術論文として掲載された。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- 教育研究評議会委員として大学運営に貢献する。
- 兵庫教育大学連合大学院副研究科長として大学運営に貢献する。

2. 点検・評価

教育研究評議会委員ならびに兵庫教育大学連合大学院副研究科長として大学運営に貢献した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

1. 目標・計画

- 中学校教員に対する現職研修を本学で実施し, 本学の知名度を高めることにより大学運営に貢献する。
- 附属中学校との連携を進め, 学生の教育実習等の活性化を図る。

2. 点検・評価

中学校教員に対する現職研修を8月6～10日に実施し, 8月16～19日に学校図書館司書教諭講習を実施した。これにより本学の知名度を高めており, 社会との連携を深めた。さらに, 附属中学校との連携を進め, 学生の教育実習等の活性化を図った。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)